

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者の避難訓練参加やホーム独自でも備蓄品を管理することなどを検討してよいと思われる。	避難訓練への利用者の参加及び、役割をお願いする。備蓄品についての記録をし、管理できる体制を整える。	災害に備えて、本部や厨房と相談し、食料品、衛生用品、照明等などの備蓄品の種類や定数を検討していく。	3ヶ月
2	36	押しかけの介護にならないように注意する。	利用者の人格を尊重した、声かけをしていく。居心地のよい環境を作る。	入居者様の誇りや尊厳を傷つけない配慮を行い、定期的にカンファレンスを行っていく。	3ヶ月
3	2	R3. 11. 1 ほたるのオアシス(共生カフェ)がオープンしました。今後、どのように運営していくのかを、地域の方、法人を含めて決めていく必要がある。	地域の方、地域包括支援センター等への宣伝し、協力を求め、交流の機会の場の提供し、ほたるのオアシスを地域の憩いの場にしていきたい。	当施設の入居者様にも、積極的にほたるのオアシスを憩いの場として、作業療法の一環として、認知症の進行を遅らせ、刺激が受け、地域の方々との交流の場にしていきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月